

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
児童福祉論	講義	2	山川 宏和
【授業のテーマ及び到達目標】 テーマ: 児童福祉の対象、児童福祉の制度とサービス、関連領域との連携について理解する。 到達目標: 児童福祉六法の理解ができる。国、地方自治体、民間福祉サービスの役割について理解できる。 子どもの人権や少子化対策などの現代の問題が理解できる。			
【授業の概要】 1. テキストを基に、各回のテーマについて講義を行う。 2. 必要に応じてDVDなどの映像素材を使用する。 3. 保育士に必要な障害・虐待・待機児童・人権・海外の保育事情などが分かるように説明する。			
【全体の授業計画・内容】			
1. わが国の児童問題 ひのえうま			
2. 児童福祉の課題 子どもの権利条約			
3. 児童福祉の歴史 岡山孤児院等			
4. 児童福祉の法制度(1) 児童福祉六法			
5. 児童福祉の法制度(2) 児童福祉法の改正 ~2004年			
6. 児童福祉の法制度(2) 児童福祉法の改正 ~2017年			
7. 児童福祉の組織 児童相談所			
8. 児童虐待(1) 児童虐待の現状			
9. 児童虐待(2) 児童虐待防止法			
10. ひとり親家庭の支援			
11. 児童福祉の専門職			
12. 母子保健			
13. 海外の児童福祉サービス			
14. 障害児福祉サービス			
15. 試験およびまとめ			
【準備学習の内容】			
予習のあり方: テキストの該当箇所を読んでおく			
学習のあり方: DVD 素材の内容等もメモをとる			
復習のあり方: 返却される講義メモを復習する			
【成績評価】			
平常試験(80%)、提出物(20%)			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】			
提出された講義メモに、訂正すべき箇所があれば訂正し、質問等には解答して返却する。			
【テキスト】			
新保幸男、小林理編 「児童家庭福祉(第2版)」基本保育シリーズ、中央法規			
【参考文献】			
特になし			